

No.	事業名	事業評価	件数	戦略会議の意見(案)
1	常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業	「常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げるKPI達成に・・・	有効であった 一件	<p>総合戦略は地方創生を推進するための礎となる計画であり、それを策定できたことは地方創生に向けて一定の効果はあったと思われる。ただし、計画の中には、短期的に効果が得られる分野、または中長期的に行わなければ効果が分からない分野など、その内容は様々であることから、これらを継続できるか、更には他市との間で差別化を図ることができるか等、常総市としての特色を出していくことが今後は重要であるとする。</p> <p>また、地方創生を一層加速させるためにも、コストカットばかりを最初に考えるのではなく、未来を見据えての投資も必要であるとする。</p>
		有効とはいえない	一件	

No.	事業名	事業評価	件数	戦略会議の意見(案)
2	企業誘致・定住促進事業	「常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げるKPI達成に・・・	<p>有効であった</p> <p>8件</p> <p>有効とはいえない</p> <p>2件</p>	<p>移住者ニーズや不動産における市の現状と特性、問題点が把握できた点などにおいては、有効であったと考えられる。また、子育て世代の転入転出にも一定の効果があったと思われる。しかし、定住促進には時間とのマッチングが必要不可欠であり、短期間における効果について議論しても大きな意味は持たない。順調に増加傾向を迎えるか、また転入者がどれだけ定着するか、ということに重点を置くべきであると考える。常総市は、定住自立圏構想において中心市の要件を満たしていることから、リーダーとなって広域連携を深めながら、定住促進を加速していただきたい。</p> <p>また、空き家については今後大きな課題へと発展していくものと思われるが、地域の居住環境の保全を図ることは、転入者の定着促進にも繋がると思われる。そのためにも、都市計画の見直し、産業地域や居住地域の拡大、交通インフラや教育環境の充実など、定住促進に向けて総合的な議論が必要である。いずれにしても、これで終了ではなく、中長期的なビジョンを市民へも周知しつつ、進めていただきたいと考える。</p>

No.	事業名	事業評価	件数	戦略会議の意見(案)
3	観光情報発信事業	「常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げるKPI達成に・・・	<p>有効であった</p> <p>5件</p> <p>有効とはいえない</p> <p>4件</p>	<p>デジタルサイネージ看板の設置は、情報の更新を随時行える点においては有効であったと思われる。ただし、設置箇所が市役所庁舎内のみであることを考慮すれば、その効果はあまり期待できないのではないかと。新しい人の流れをつくることを目的とするならば、市役所内のみならず、豊田城や水海道駅周辺など、人目に触れやすい場所に設置するべきである。同時に、デジタルサイネージ看板が設置されたことを知らない市民が多いと思われるため、PR等の周知徹底も必要であると考えます。</p> <p>また、観光情報発信を充実させるという観点では、デジタルサイネージ看板の設置だけでは物足りなさを感じる。新聞・テレビ・ラジオ等、マスメディアでも取り上げてもらえるような企画を模索するとともに、SNSなどを活用したPRも必要である。</p>

No.	事業名	事業評価	件数	戦略会議の意見(案)
4	子育て世代交流促進事業	「常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げるKPI達成に・・・	<p>有効であった</p> <p>9件</p> <p>有効とはいえない</p> <p>0件</p>	<p>キッズスペースを設置したことは、子育て世代に対する施策としては一定の効果があったと思われる。ただし、石下庁舎のキッズスペースは手続きをする窓口から見えない場所に設置されているため、キッズスペースで遊んでいる子どもが目に入る場所で手続きが可能となるよう、改善が必要である。子育て支援情報誌は、中身も見やすく、情報もかなり充実しているため、相当の効果があったと思われる。</p> <p>また、共働き世帯の増加に伴い、子育てするうえでは父親の理解・協力も必要となる中、イクボス育成研修会は効果があったと考えられるため、企業や地域社会などへも広く派生させていただきたい。子育て世代への支援は、継続させることが何よりも重要であると思われるため、今後も継続して推進していただきたいと考える。</p>

No.	事業名	事業評価	件数	戦略会議の意見(案)
5	子育て世代応援事業	「常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げるKPI達成に・・・	有効であった 8件	<p>子育て世代の転入転出者が転入増加に転じていることから、子育て世帯への経済的な負担の軽減という観点からも若年層の定着を図ることに対して一定の効果があったと考えられる。しかしながら、予防接種の助成については周辺自治体も類似の施策を実施していると思われるため、総合的な地域間の競争で優位に立つためにも、常総市独自の子育て支援策を展開していただきたい。</p>
		有効とはいえない	2件	

No.	事業名	事業評価	件数	戦略会議の意見(案)
6	ノーマライゼーション社会促進事業	「常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げるKPI達成に・・・	<p>有効であった</p> <p>6件</p> <p>有効とはいえない</p> <p>3件</p>	<p>障がい児に対する教育支援は、障がいのある児童生徒も地域の一員として生活するための第一歩であり、大変重要な施策であると考えます。当該事業のKPIである「学校に行くのが楽しいと思っている児童・生徒の割合」が90%に近づきつつあることから地方創生に効果があったと考えられるが、残念ながら10人に一人は楽しいと思っていない状況となる。これらの児童について、少数だからと言って諦めるのではなく、深刻な問題を抱えていないかどうか、注意深く探ることも必要である。</p> <p>また、障がいを持つ家庭向けのイベントも充実させると共に、障がい児への支援だけでなく、健常者への働きかけも積極的に行っていただきたい。</p>

No.	事業名	事業評価	件数	戦略会議の意見(案)
7	防災教育事業	「常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げるKPI達成に・・・	<p>有効であった</p> <p>7件</p> <p>有効とはいえない</p> <p>1件</p>	<p>緊急防災セットの配布は、防災啓発に対して一定の効果があったと考えられる。今後は、防災教育の一環として、講演会やシンポジウム、幼稚園から高校生までを対象とした防災訓練などにも取り組んでいただきたい。</p> <p>災害時にはまず自己の生命・身体を守ることが非常に重要である。そのためには、日頃からの防災に対する意識付けを行うと共に、災害時に計画どおりに行動できるように、実際に体を動かす実践的な防災訓練が必要であるとする。常総市の防災教育を充実させるためにも、今後は更に発展させた施策展開を期待する。</p>

No.	事業名	事業評価	件数	戦略会議の意見(案)
8	スマートウェルネス都市推進事業	「常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げるKPI達成に・・・	<p>有効であった</p> <p>7件</p> <p>有効とはいえない</p> <p>1件</p>	<p>住むだけで健幸になれるまちが実現できれば大変素晴らしいことである。その意味でも、人の健康・まちの健康を測定できるAIを活用したシステムの導入は画期的であり、大きな効果が期待される。ただし、導入したシステムがどのように市民生活に反映されるかが不明確である上に、個々人の生活習慣等に依存する割合が非常に大きく、短期的に効果を測定することは困難な分野であると考えられる。「常総市に住むと健康になれる」ようなまちづくりを推進するためにも、当該取り組みについては、今後も発展させて継続していただきたい。</p>

No.	事業名	事業評価	件数	戦略会議の意見(案)
9	国際スポーツ・文化交流推進事業	「常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げるKPI達成に・・・	<p>有効であった</p> <p>10件</p> <p>有効とはいえない</p> <p>0件</p>	<p>東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地となることが決定すれば、当該国の選手はもとより、選手の家族・マスコミ等、多くの人々が常総市を訪れることが見込まれる。その一歩として、パンフレットを作成しキャンプ地誘致として積極的に働きかけることは、地域の発展に一定の効果が得られると考える。ただし、パンフレットを作成して終了ではなく、コネクションネットワークなどをいかし、工夫を凝らしながらキャンプ地誘致に繋げていただきたい。さらに、オリンピック・パラリンピック終了後の計画的な施設活用・維持管理まで含めた検討は必須であると考えます。</p> <p>また、東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致の一方で、既に市内に居住しているブラジル人の方々が中心となり、外国人の子ども達とのスポーツ交流を促進してもらえるような施策も必要ではないか。スポーツや文化は、言葉の垣根を越えやすく、友情が芽生えるきっかけにもなると考えられ、ひいては将来的なスポーツの振興にも繋がると思われる。</p>

No.	事業名	事業評価	件数	戦略会議の意見(案)
10	復興のシンボル・豊田城のサービスイノベーション	「常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げるKPI達成に・・・	<p>有効であった</p> <p>8件</p> <p>有効とはいえない</p> <p>1件</p>	<p>豊田城リニューアル以降の来館者が大きく増加しており、豊田城周辺施設への波及効果も大きいと考えられ、豊田城改革の第一歩として、効果が期待できる事業であると考え。特に、市外からの来館者が増えたことは、休日滞在人口率の向上にも寄与することにもなるため、地方創生の事業として有効であると思われる。ただし、今回の、復興のシンボルとしての豊田城の改修やデジタルアーカイブ事業は、地方創生に向けたスタート地点である。今後は、来館者を更に増加させるためにも、防災都市らしいプロジェクトや復興のメッセージを発信できるような思い切ったイベントなども開催していただきたい。</p>

No.	事業名	事業評価	件数	戦略会議の意見(案)
11	地域公共交通広域連携事業	「常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げるKPI達成に・・・	<p>有効であった</p> <p>8件</p> <p>有効とはいえない</p> <p>2件</p>	<p>公共交通の整備は、常総市への転入促進に向けて欠かせない施策のひとつである。地方創生をより一層加速するためには広域連携は必須であり、広域連携による公共交通網の整備促進は、地方創生に一定の効果があったと考えられる。また、今後、高齢化社会を迎え、自力で自家用車を運転できなくなった場合は地域の公共交通に頼らざるを得ない。今後の高齢化社会を見据えて広域的な地域間連携を図ることは各地域を維持する上で必須であり、今後もさらに発展させていきたい。</p> <p>常総市における公共交通は第一に関東鉄道常総線があげられるが、バスについては非常に脆弱である。乗り合い交通だけでは観光者や定住者には不便と見なされ、まず「来る」ことに対して常総市は選ばれにくいと考える。新しい人の流れをつくるためにも、市内循環バスの導入は必要ではないか。</p>